

日韓高校生交流プログラム（オンライン）の記録

1. オンライン交流概要

【目的】日韓双方で選抜された高校生が両国を理解するための講義聴講及び交流・意見交換等を通し、両国の協力・友好関係について理解を深め、広く対外発信することにより、両国の協力関係の重要性を広めることを主目的とする。

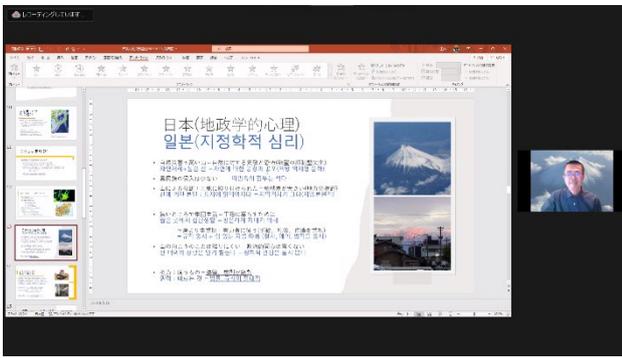
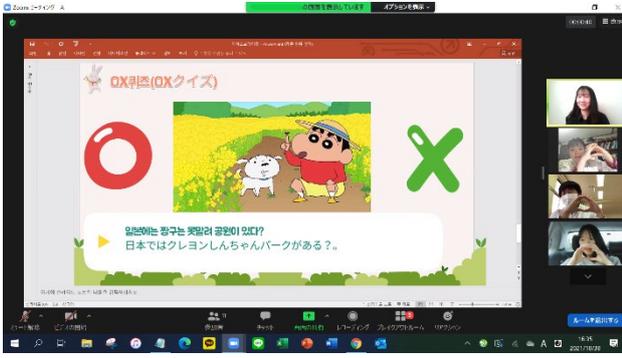
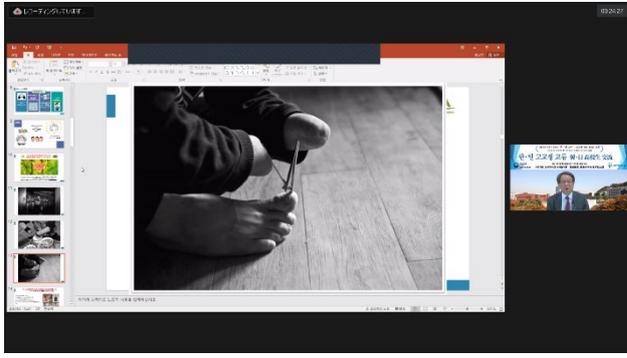
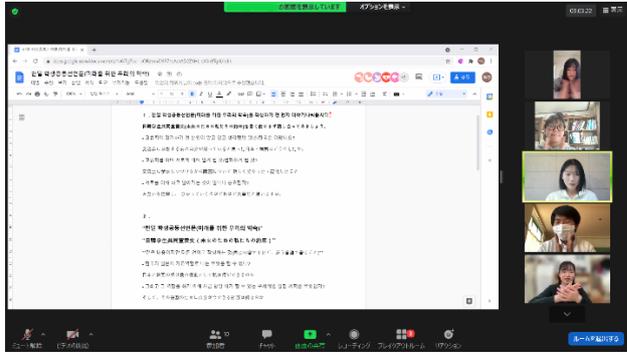
【参加者】日韓両国の高校生 78名

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応（参加者の人数 実績）
1回目 10月30日	<p>【オリエンテーション】</p> <p>【テーマ関連講義・質疑応答】</p> <p>「日韓：似ているからこそ、大きく異なる存在」</p> <p>講師：東京都立日比谷高等学校講師 武井一 氏</p> <p>①聴講 ②質疑応答</p> <p>【交流・意見交換】</p> <p>①グループ別に各自それぞれの国の魅力を紹介</p> <p>②紹介された内容について意見交換</p>	<p>講義では、日韓間で生じている誤解を解いていくための方法や、両国の若者が未来に向けてどのように貢献できるか等の質問があった。</p> <p>グループ別交流では、両国の学生が自己紹介を相手国の言語で行い、各自様々な視点から自国の魅力を紹介したことで、相手国への関心が高まった。（参加者：78名）</p>
2回目 11月6日 宮城県、東京都、静岡県、宮崎県	<p>【テーマ関連講義・質疑応答】</p> <p>「朝鮮半島の平和と地雷被害者について」</p> <p>講師：長安大学校理事長 ジョ・ジェグク 氏</p> <p>①聴講 ②質疑応答</p> <p>【視察・意見交換】</p> <p>①学校生活などを各自制作の動画で紹介</p> <p>②紹介された内容について意見交換</p>	<p>講義では、DMZ（非武装地帯）や今現在も埋まっている不発弾についての質問が上がった。</p> <p>グループ別交流では、英語や日韓両言語を駆使しながら、学校生活という身近な共通点をテーマに意見交換を行い相互理解を深めた。（参加者：78名）</p>
3回目 11月13日	<p>【交流・意見交換】</p> <p>①「日韓間の学生共同宣言または未来に向けた約束」について意見交換</p> <p>②発表準備</p> <p>【成果報告会】</p>	<p>総括として、本プログラムで得た参加者同士のつながりを今後どのように継続させていくのかをテーマとした意見交換を行い、両国の協力関係の重要性及び継続</p>

		した交流の必要性を参加者全員で確認した。(参加者：78名)
--	--	-------------------------------

3. 記録写真

	
<p>2021年10月30日【テーマ関連講義・質疑応答】 「日韓：似ているからこそ、大きく異なる存在」</p>	<p>2021年10月30日【交流・意見交換】グループ別交流（自国の魅力紹介）</p>
	
<p>2021年10月30日【交流・意見交換】グループ別交流（自国の魅力紹介）</p>	<p>2021年11月6日【テーマ関連講義・質疑応答】 「朝鮮半島の平和と地雷被害者について」</p>
	
<p>2021年11月6日【視察・意見交換】オンライン視察・意見交換</p>	<p>2021年11月13日【交流・意見交換】「日韓間の学生共同宣言または未来に向けた約束」</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 学生

講義を通じて韓国と日本の文化と歴史などをより深く知ることができ、私も知らなかった韓国の歴史、そして他では見られないような日本の文化と歴史を知ることができてよかった。本当に有意義で良い時間だった。

◆ 韓国 学生

一見すると日本は韓国と似ていると思うが、深く知ると本当に異なる風景や文化があり、それを学べたことが興味深かった。日本の友達と交流し、旅行を通じては知ることができない日本の日常、同年代の学生がよく使う言葉などを学ぶことができ、とても有意義な時間だった。

◆ 日本 学生

参加する前は、日本に対してあまりいい印象を持っていない人が多いのではないかと少し心配していたが、交流を通して両国の理解を深めていく中で、日本を好きでいてくれる人がこんなにもいるのだと知り、嬉しくなった。私もより韓国のことが好きになり、人の繋がりの暖かさを感じた。コロナが終息し、いつか韓国に行ける日が来て、再開の約束を果たせる日が来るのを楽しみにしている。

◆ 日本 学生

このプログラムに参加して、日韓の関係を良好にするためには実際に交流することが大事だと思った。もちろん SNS などでも交流することも良いが、実際に会うことや、声で交流することが更に良いと思った。何より、お互いの言語・文化・生活を理解しようとする意識とその努力が大事だと感じた。お互いを尊重しあうことで、誤解を解き、関係をより良好にできると考える。本当にこの交流会に参加してよかったと思う。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 韓国側主催機関関係者（韓国国立国際教育院）

オンライン交流ならではの深い交流効果について共に認識できたと思う。オフラインでの交流が再開した際も、事前活動や事前教育の一環として、オンラインプログラムを実施した上でオフラインにつなげた方がより意味があり、効果的な交流になると思う。お互い実現できるよう、引き続き検討していきたい。

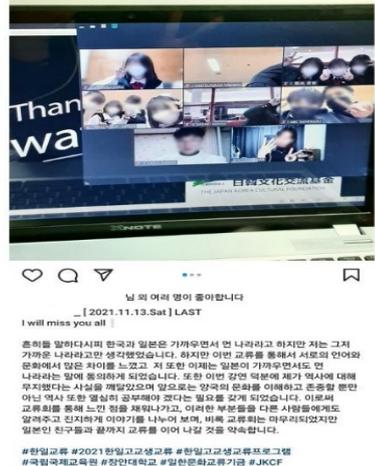
◆ 韓国側実施機関関係者（長安大学校）

今回の交流はコロナ禍のためオンラインで行われ、学生たちの初対面が画面越しであるということに気を使った。しかしファシリテーターの巧みなリードにより、学生たちは集中して課題に取り組むことができたようだ。アンケート結果からもわかるように、お互いを知り理解していく出会いはこれからも継続されなければならない。

6. 参加者の対外発信、報道記事等



2021年10月30日 (Instagram)
 初めての高校生オンライン交流。韓国と日本で
 どんなところに差があるのか、詳細を知ることができてよかった。またグループ交流でそれぞれの発表を聞き、互いを知る時間を通し交流している姿が印象的だった。



2021年11月13日 (Instagram)
 (中略) 講義を拝聴する中で歴史について知らなかったことを実感し、これからは両国の文化を理解・尊重するだけでなく、歴史についても学ばなければならないと感じた。
 プログラムに参加したことで不十分と感じた部分があったため、そこを埋める努力をしながら、これからも日本の友達たちとの交流を続けていくことを約束する。



2021年11月13日 (Instagram)
 (中略) 残念ながらオンライン交流はこれで終わってしまうが、個別に交流できる時間はたくさんある。最後の交流だったため、他のグループの子たちとも連絡先を交換することが出来て嬉しかった。これからも日韓交流により積極的に取り組んでいこう！



2021年11月13日 (Instagram)
 (中略) 日韓関係は良くないと言われることがあるが、このプログラムに参加している学生たちは、お互いの文化を学び尊重し合うことがもうすでにできていると思う。私たちの交流がひとつのきっかけとなり、日韓両国で偏見のない関係が作られていったらと思う。



20211113 JENESYS2021 第3回 (最終回)

今回は最後の交流ということで、グループのみんなで日韓間の学生共同宣言を考え、それを全体で発表しました！！

- 1.SNSで共通のハッシュタグを作って交流していく (SNSで共通のハッシュタグを 만들고 교류하기)
- 2.交流プログラムが終了しても連絡を取り合う (교류프로그램이 끝나도 연락하기)
- 3.お互いの国の言語を学ぶ (서로 나라의 언어를 배우기)

4.インターネットやメディアで誤った情報や印象の悪い内容を自分たちで正し発信していく (인터넷이나 언론의 잘못된 정보나 인상 나쁜 내용을 저희가 바로잡고 발신하기)

これらをグループの宣言とし、これからは積極的に韓国との交流をしていきます。

本学期的1ヶ月間という短い間でしたが、一緒に交流し楽しく過ごせる事ができて本当に良かったと思います。来年の韓国訪問に向けてもっと韓国について勉強をし、万全の状態で訪韓出来るようにしたいと思います。

마지막으로 互換 함께 친하게 지내 주셨던 친구와 알기 쉽게 번역 해주셨던 파실라테이티님 진심으로 감사하는 마음을 전하고 싶어요!

그리고 내년 제가 실제로 한국에 갈 때를 위해 열심히 한국어 공부하겠습니다!!

그동안 정말로 감사했습니다.



2021年11月13日 (Instagram)

今回は最後の交流ということで、グループのみんなで日韓間の学生共同宣言を考え、全体で発表をした。

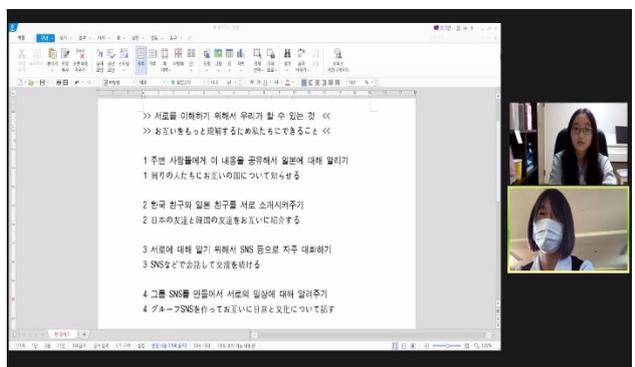
1. SNSで共通のハッシュタグを作り交流する
2. プログラムが終了しても連絡を取り合う
3. お互いの国の言語を学ぶ
4. インターネットやメディアで誤った情報や印象の悪い内容を自分たちで正し発信していく これらを私たちのグループの宣言とし、これからは積極的に交流をしていきたい。

2021年11月25日 (統一日報)

「韓日交流のさらなる拡大へ」

プログラム実施概要や「今回の出会いをこの交流だけで終わらせるのではなく、SNSを活用して相手に対する知識をさらに深めていきたい。その中で、間違いは間違い、正しいことは正しいと、はっきりと言い合える関係になり、相手の全てを受け止め向き合っていく姿勢を大切にしたい。」などという参加者の声を紹介された。

7. オンラインプログラムの成果発表



本プログラムでは、最終日に「日韓間の学生共同宣言」または「未来に向けた約束」をテーマに意見交換を行い、グループ毎に発表する機会を持った。発表された主な内容は以下のとおり。

- ・お互いに偏見や誤解・固定観念をなくし尊重し合い、日韓の友情をSNSで発信していきたい。
- ・お互いに相手国の言葉を学び友人を紹介し合い、この友情を周りに波及させていきたい。
- ・世の中の間違った発信を正すなど、若い私たちが積極的に行動し、日韓の懸け橋になっていく。
- ・成長して将来影響力のある人物になり、未来の日韓関係を良くしていきたい。
- ・私たちが日韓関係の方向性を示し、深い関係を築いていきたい。

・ お互い良い点を肯定的に受け止め、SNS で発信することで関係改善を模索していきたい。

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金